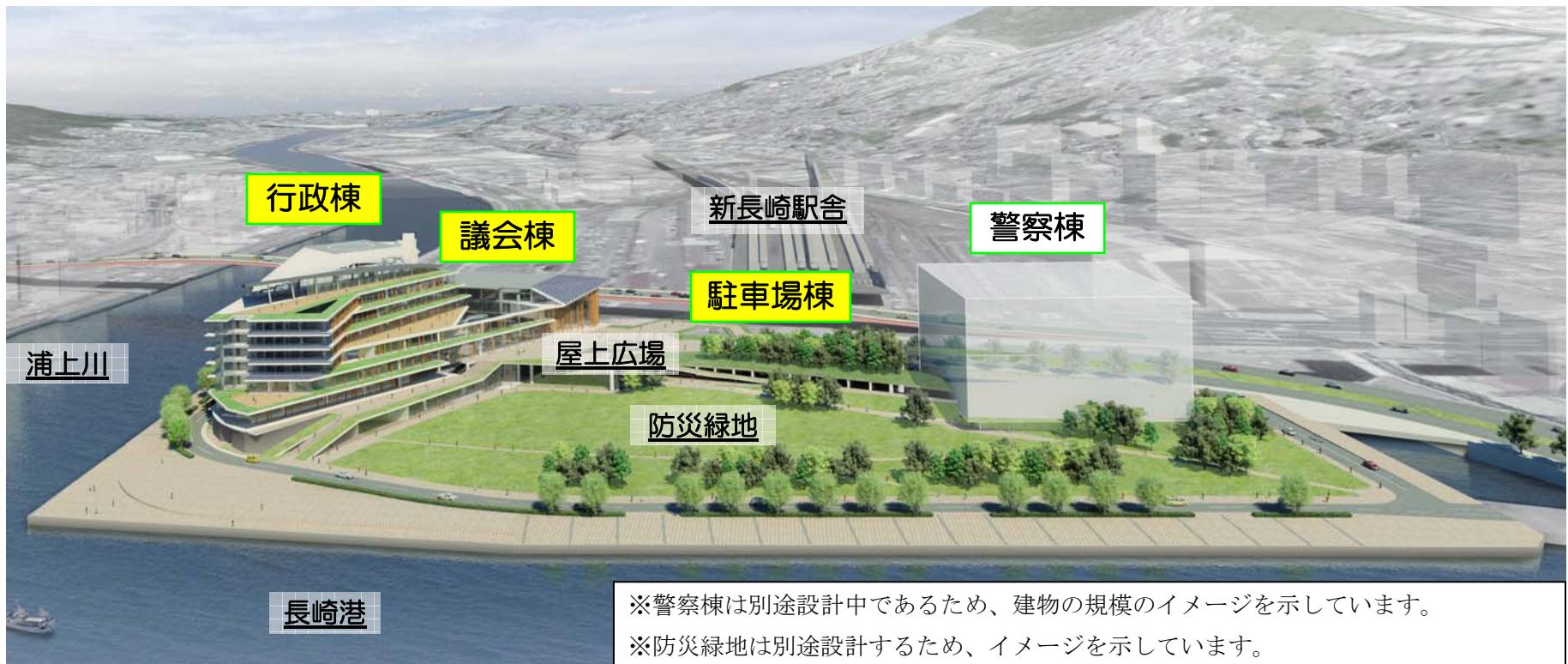


# 新たな県庁舎の基本設計

## 完成イメージ図

① 長崎港側から見た敷地全体のイメージ図



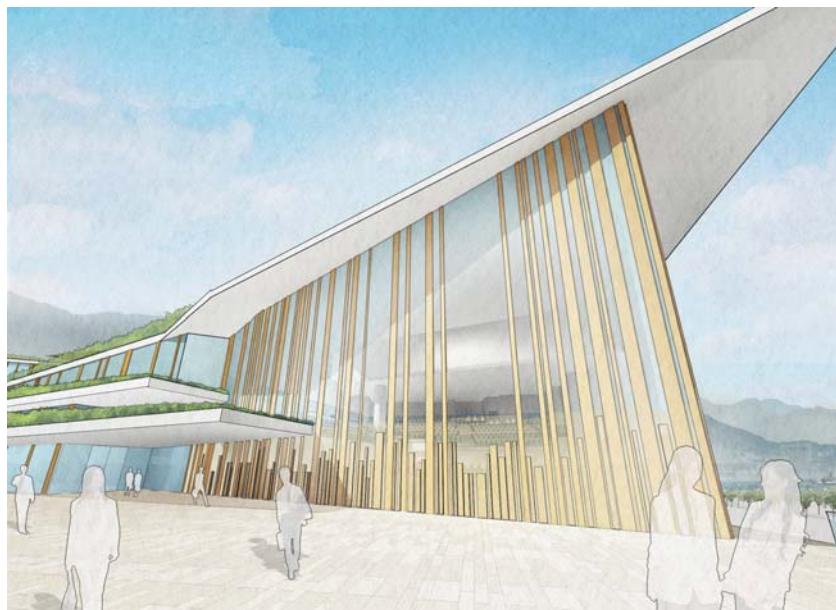
② 新長崎駅舎側から見た敷地全体のイメージ図



③ 防災緑地から見た行政棟のイメージ図



④ 屋上広場から見た議会棟のイメージ図



各イメージ図の方向



# 計画概要

## 建設予定地

### 所在地

長崎市尾上町（長崎魚市跡地）

### 敷地面積

約 30,000 m<sup>2</sup>

（防災緑地や臨港道路、  
岸壁を含めると、約 58,000 m<sup>2</sup>）

## スケジュール

区分	年度					
	23	24	25	26	27	28
行政棟・議会棟等の設計（本業務） (H24.3～H25.11)	●	---	●			
警察棟の設計（別途業務） (H24.11～H25.11)		●	●			
建設工事 (発注手続きを含む)			●	---	●	●

## 建物の規模

	行政棟	議会棟	駐車場棟	警察棟（参考）
建築面積	11,000 m <sup>2</sup>	2,100 m <sup>2</sup>	5,600 m <sup>2</sup>	別途業務
延床面積 (基本構想)	46,140 m <sup>2</sup> (49,000 m <sup>2</sup> )	6,480 m <sup>2</sup> (6,500 m <sup>2</sup> )	12,255 m <sup>2</sup> (11,000 m <sup>2</sup> )	22,000 m <sup>2</sup> (20,000 m <sup>2</sup> )
駐車台数	約 40 台	—	約 350 台 (来庁者用約 200 台)	約 60 台
規 模	地上 8 階 地下階無	地上 5 階 地下階無	地上 3 階 地下階無	別途設計中
構 造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	
高 さ	44.15m	24.40m	9.00m	

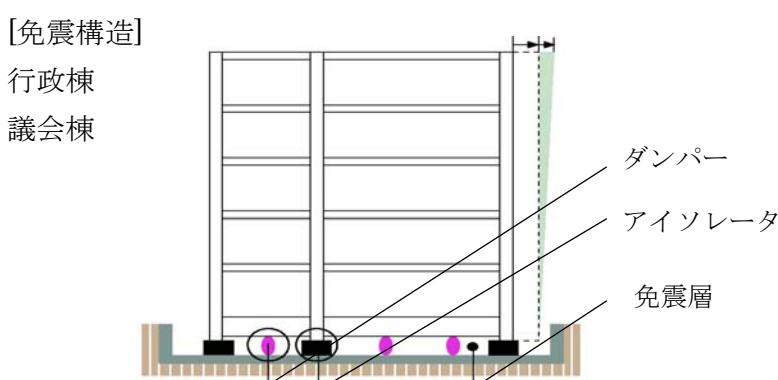
# 防災拠点となる県庁舎

特に重要な防災拠点施設としての基本性能を確保し、県民生活の安全・安心を支える庁舎にします。

## 地震・液状化対策

- 建物損傷を最小にする免震構造を採用
- 構造的に優位な低層の建物とする
- 安全性の高い液状化対策工法を実施

＜免震構造のイメージ図＞



## 津波・高潮対策

- 庁舎敷地の嵩上げ（建物 1 階の床の高さを標高 4.8m 程度とする）を実施
- 2 階以上に主要な機械室を配置

＜岸壁と庁舎の床の高さのイメージ図＞



# 県民が親しみを感じる県庁舎

県民の皆さんがあれに利用でき、憩いや交流と協働の場となる、親しみやすい庁舎とします。

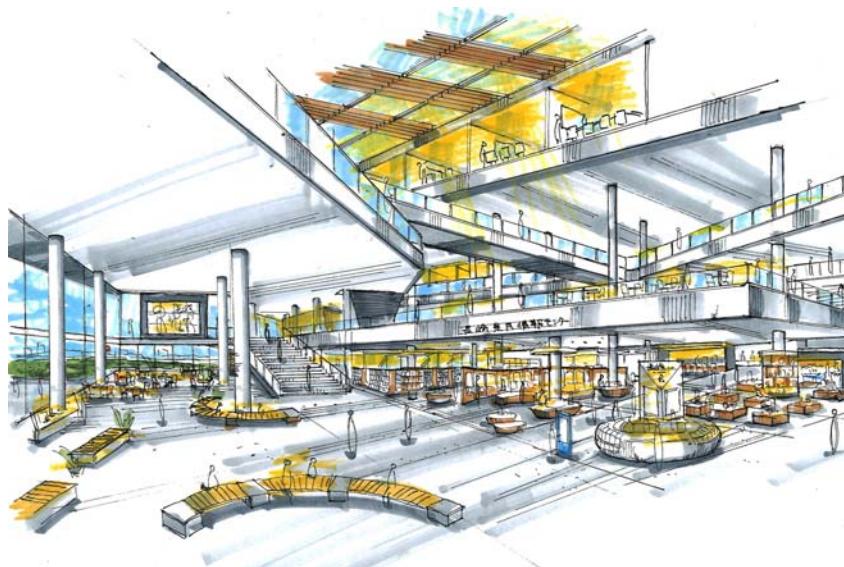
## 行政棟

エントランスホール、

県民情報センター（仮称）など（1階）

- ・情報発信や県民協働等のスペースを確保し、各種イベントにも活用
- ・閉庁日にも利用可能

＜エントランスホールのイメージ図＞



## 展望施設（8階）

- ・長崎の海と山の風景を楽しめるよう夜間も含め、開放
- ・閉庁日にも利用可能

## 会議室（3階ほか）

- ・閉庁日には、貸し会議室として利用可能

## 駐車場棟

- ・来庁者用の駐車スペースを約200台分確保
- ・屋上広場は常に利用可能

## 議会棟

### 本会議場（3階）

- ・身近に感じられるよう屋上広場と隣接した3階に配置

＜本会議場のイメージ図＞



# 機能的で環境に優しい県庁舎

時代の変化などに対応した柔軟性の高い庁舎とし、また、自然エネルギーの積極的利用などにより、環境性能に優れた庁舎にします。

## 自然エネルギーの活用

- ・太陽光発電パネル
- ・自然採光
- ・自然換気 など

## 省エネルギー技術の導入

- ・LED照明
- ・昼光利用による照明制御
- ・高効率な空調熱源機器 など